

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㉔	d	e
			10	-	5	-	0	-5	-10
実施能力 の評価	実施体制 と執行計 画	●評価対象項目 (選択) (評定) ☒ ☐ 1. 管理技術者は、照査結果の確認を行っている。 ☒ ☐ 2. 業務計画書が契約締結後すみやかに提出されている。 ☒ ☐ 3. 業務計画書は、設計図書に定められた必要な事項を記載し業務内容に適した業務計画書が提出されている。 ☒ ☐ 4. 業務計画書における実施方針は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足し指摘や修正がない。 ☒ ☐ 5. 業務計画書における実施方針は、本業務の目的や内容に基づき、図式等による工夫が見られ、かつ、内容がわかりやすく記載されている。 ☐ ☐ 6. 再委託に付した場合、書面により協力者との契約関係が明確であり、協力者に対して適切な指導、管理行い、かつ、委託先の成果物に対する照査を行っていることが書面で確認できる。 ☐ ☐ 7. 守秘義務について具体的な計画が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 8. 個人情報等の管理に関する管理体制等が業務計画書等に記載している。 ☐ ☐ 9. その他 []						☐ 実施体制及び執行計画について、調査員が文書で改善指示を行った。	☐ 実施体制及び執行計画について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は1～9のうち 評価値が90%以上 a 評価値が70%以上90%未満 b 評価値が70%未満 c							

①「評価対象項目」のうち、(選択)の☒は必須項目とし、☐は、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。
 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(0 %) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(5)

考査項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	㉔	d	e
			10	7.5	5	2.5	0	-5	-10
実施状況 の評価	品質管理	●評価対象項目 (選択) (評定) ■ □ 1. 設計図書の内容を十分点検している。 ■ □ 2. 照査技術者は、照査計画を作成し、照査に関する事項を定め、業務計画書に記載している。 ■ □ 3. 照査技術者は、業務期間をとおして適切に照査を実施している。 ■ □ 4. 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書にとりまとめ、照査技術者捺印のうえ管理技術者に提出している。 ■ □ 5. 品質確保のための会社独自の照査体制が確立され、その体制で照査を行ったことが確認できる。 ■ □ 6. 品質管理のためのシステムが構築されており、かつ、成果への反映について確認できる。 (ISO9001等の認証取得と成果への反映が確認される場合) ■ □ 7. 設計エラーが無いよう、設計点検シート等が作成され、設計点検シート等に工夫が見られ内容も適切である。 ■ □ 8. 現場発生材の発生抑制や利活用について検討され、成果に反映されている。 □ □ 9. 最適な施工計画の立案等により、コスト縮減が可能となる成果が得られている。 ■ □ 10. 「業務計画書」における「成果物の品質を確保するための計画」に記述された内容が適切であり、かつ、当該業務の品質の管理に繋がっている。 ■ □ 11. 最適な施工計画の立案、新技術、新工法の採用等により工期短縮が可能となる成果が得られている。 □ □ 12. その他〔 〕 ◎評定は1～12のうち 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c						□ 品質管理について、調査員が文書で改善指示を行った。	□ 品質管理について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。
		①「評価対象項目」のうち、(選択)の■は必須項目とし、□は、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(10)							

考查項目	細 別	選択区分	a	a'	b	b'	◎	d	e
			20	15	10	5	0	-10	-20
結果の評価	成果物の品質	●評価対象項目 (選択) (評定) ☐ ☐ 1. 現地条件・特性を踏まえた適切な仮設計画、施工方法等が施工計画書に的確に記載されている。 ☒ ☐ 2. 現地踏査の結果より判明した設計上対応が必要な事項についての対策が記載されている。 ☐ ☐ 3. 現場での施工における技術的ポイントが別途、引き継ぎ事項として整理されている。 ☒ ☐ 4. 設計図書に定められた項目及び指示事項が漏れなく整理されている。 ☒ ☐ 5. 業務遂行段階での指示事項が漏れなく整理されている。 ☐ ☐ 6. エコマテリアルの使用をはじめ、現場発生材の積極的な利活用を検討し、調査員と協議のうえ設計に反映させている。 ☐ ☐ 7. グリーン購入法に基づき、物品使用の検討にあたって環境への負荷が少ない環境物品の採用をしている。 ☒ ☐ 8. 全体的な構成や説明の流れが業務の目的と成果への導きとして適切にとりまとめられている。 ☒ ☐ 9. 個々の説明において、図や表を活用するなどわかりやすい説明となっている。 ☒ ☐ 10. 活用した技術基準や文献等の出典先が、それぞれの成果に記載され、わかりやすく整理されている。 ☒ ☐ 11. 生産性向上(コスト縮減)留意書において、有益な提案がされている。 ☒ ☐ 12. 有用な新技術・新工法の検討がされ、施工品質向上を図る提案がされている。 ☐ ☐ 13. その他〔 〕						☐ 成果物について、調査員が文書で改善指示を行った。	☐ 成果物について、調査員の文書による改善指示に従わなかった。
		◎評定は1～13のうち 評価値が90%以上 a 評価値が80%以上90%未満 a' 評価値が70%以上80%未満 b 評価値が60%以上70%未満 b' 評価値が60%未満 c							

①「評価対象項目」のうち、(選択)の■は必須項目とし、□は、選択項目として該当する場合にチェックし、評価対象の項目とする。
 ②必須項目と選択項目で選択した項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(0 %) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(8)